

GCAサヴィアン
欧州ニュースレター 2014年7月
 Vol.6 スイス



はじめに

第六回目の今回はスイス特集です。

ワールドカップが盛り上がりを見せていますが、残念ながら日本はグループリーグ敗退という結果になりました。ヨーロッパ各国もスペイン、イングランド、イタリア、ポルトガルといった強豪が早々に敗退しましたが、その中であってスイスはグループリーグ突破を決めました。

スイスは人口は約800万人の小規模な国ですが、工業製品、製薬、環境関連技術などで光る技術を有した企業が多く存在します。そのような背景もあり、2011年には日本-スイス間で15件のM&Aが成立するなど、日本企業にとっても注目度合の高い国といえます。

スイスの協業先とディスカッションをする中で、「なぜそんなに多くの言語を話すことができるのか？」という質問をした際、「考えてみろ、市場規模の小さいスイスのみで仕事してはビジネスにならないだろ？」という答えが返ってきました。つまり、スイスの人達にとって、グローバル化というのは必然のこととして達成できているのです。そんなグローバル人材を手に入れるという観点でも、スイス企業のM&Aは魅力的なのではないでしょうか？

観光大国でもあるスイスにとって、いよいよ最高の観光シーズンに突入しました。美しく雄大な自然には目を奪われますが、スイス自体を深く理解すればその見方も変わってくるかと思えます。本レポートが皆様のスイス理解の一助になれば幸いです。

GCAサヴィアン
フランクフルトオフィス
村井 慎

スイス概況

**実質GDP成長率
(2013年)**

2.0%

 ※ 2012年は+1.0%
 ※ EU28か国平均は+0.1%

**消費者物価上昇率
(2013年)**

+0.1%

 ※ 2012年は-0.7%
 ※ EU28か国平均は+1.5%

**失業率
(2014年5月)**

3.0%

 ※ 2012年は3.5%
 ※ EU28か国平均は10.6%

- 2013年は力強い内需と輸出入の回復に支えられ2.0%のGDP成長を達成しました。2014年は2.0%、2015年は2.6%の成長が期待されています。
- 消費者物価指数は2012年のマイナス0.7%から2013年には0.1%とプラスに転じました。とはいえものの、スイスフランの通貨高の影響もあり、構造的にインフレになり難い状況があるのも事実です。
- スイスはドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語のつを公用語と定めていますが、フランス語圏やイタリア語圏の方が、ドイツ語圏よりも失業率が高いなど、失業率は地域によっても差があります。
- スイスの労働市場規制は穏やかで、雇用法も寛大に定められており、欧州M&A案件で良く挙げられる「雇用関連の規制が厳しい」という論点は当てはまりません。例えば雇用形態について、100%雇用ではなく70%雇用(100%が週42時間であれば70%雇用は29.4時間)といった契約形態も通常です。

スイスM&A

**日スイス案件数
(2011-2013年)**

 25件
 (うち20件は日本企業による
 スイス企業買収)

**主な日スイス
案件
(2011-2013年)**

- 武田薬品工業によるNycomed買収(2011年5月/約1兆1,200億円)
- 東芝によるLandis & Gyr買収(2011年5月/約1,863億円)

**ホットなセクター
(2011-2013年)**

- インダストリアル(5件)
- ヘルスケア(5件)
- ハイテク(5件)

- スイスはドイツ、北イタリアと同じく技術力の高いインダストリアルセクターの企業が多いのが特徴です。また、ヘルスケアセクターも競争力があり、世界的な製薬企業はもちろんのこと、中規模の優良企業も多く存在します。
- 2009年以降、三菱樹脂、日立造船、ナブテスコ、東芝、武田薬品、豊田自動織機、東京エレクトロン、UCC、シチズン、フジシール、IHI、ミネベア、三井化学、パナソニック、三井物産等の企業がスイス企業を買収しています。
- スイスはEUに加盟していませんが、一連の二国間協定と包括的自由貿易によって、5億人もの消費者を擁するEU内部の市場で物品やサービスを自由に取引することができます。EUはスイスの輸出の約60%、輸入の約80%を占めています。
- 人の移動の自由も制限されていないためEUとEFTAの加盟国民(ブルガリアとルーマニアを除く)はスイス労働市場に自由に参入することができます。

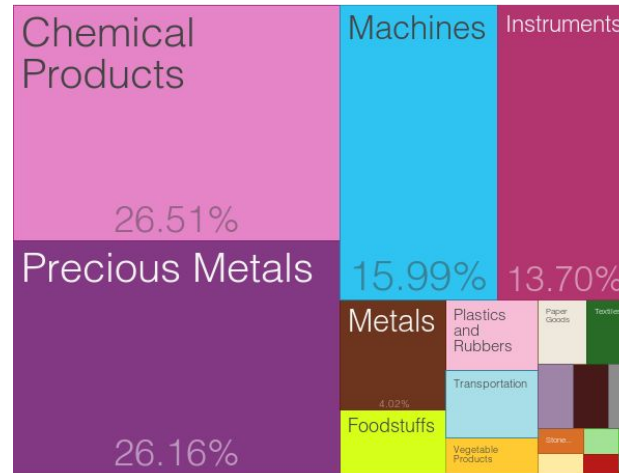
Switzerland

GCA Savvian

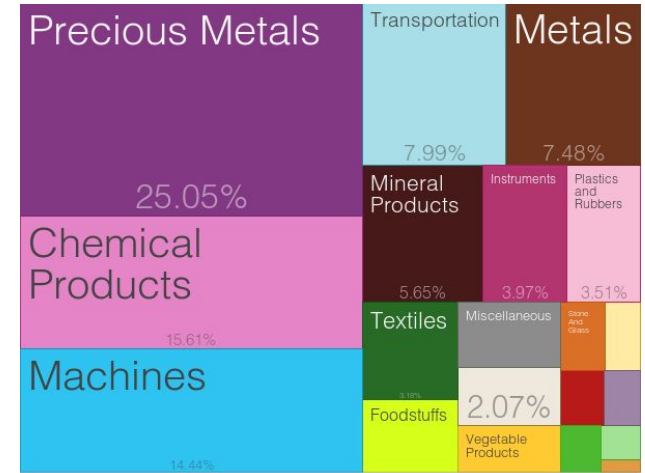
Switzerland



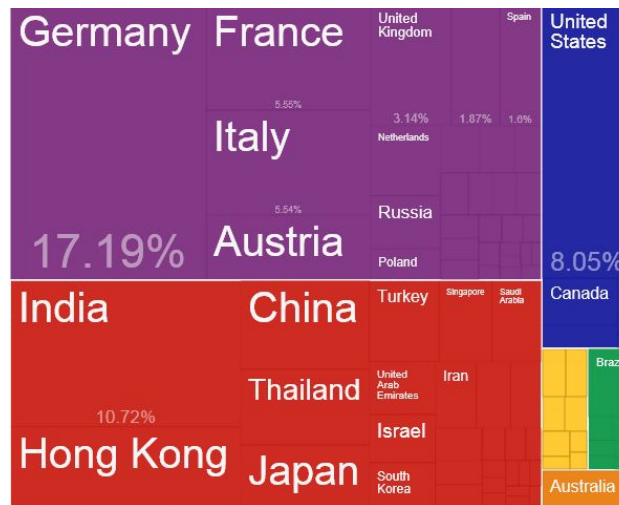
■ 主要輸出品目



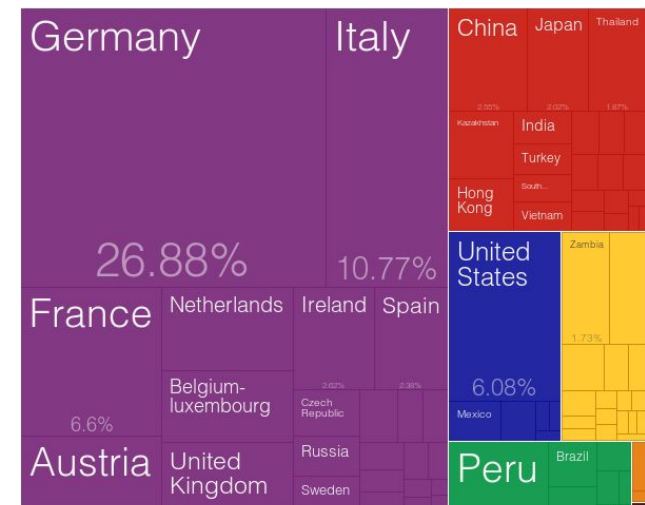
■ 主要輸入品目



■ 主要輸出先(国)



■ 主要輸入先(国)



スイスの多様性

- スイスは人口の約20%が外国人で、ジュネーブ、バーゼルやローザンヌのように、都市によっては外国人比率が80%を超える、非常に国際的な国です。
- 企業が重要拠点を他の国に移転する場合、多方面にわたって様々な検討が必要となります。国際的にもスイスは企業の統括本部を設置する国として好まれており、多国籍企業や企業本社が集中していることが、まさに事業立地としてのスイスの魅力を証明しています。
- 統括本部として選択される理由として、法的安定性、優秀な人材の確保、高水準の生活環境、そして欧州の中心という立地などが挙げられます。加えて、世界有数の教育機関や研究機関と近接していることも大きな利点です。さらには、スイスはその限られた国土ながらも多様な人口を有するため、新商品の市場テストとしても理想的な場所として知られています。
- 永世中立国という国際的な立ち位置もあり、企業のみならず多くの国際機関の本部が置かれています。



スイスの物価は高い!?

- スイスはノルウェーと並び「世界一物価の高い国」と言われています。
- 例えば、為替相場を推計する際にも用いられることのあるマクドナルドのビックマックの価格を比べれば、なんとスイスのビックマックは一個45円で310円の日本価格の倍以上の水準です。
- 物価が高い理由としては、まず最初にスイス国内の人件費が高いということが挙げられます。スイス人労働者は単位労働時間あたりの生産性が世界一とも言われ、3か国語以上話すことのできる人材も豊富です。それに伴い人件費も非常に高額で、大卒の初任給は月40万~100万円の水準にあります。
- しかし、物価の高さはあくまで「自国との比較論」で感じるものであり、前回の北欧特集でも取り上げた「幸福度ランキング」で堂々の3位にランクインされているように、スイスの方々は物価の高さを感じていないかもしれません。

《世界各国のビックマック価格》

順位	国名	価格	順位	国名	価格
1	ノルウェー	813円	13	ドイツ	519円
2	ベネズエラ	746円	14	ユーロ圏	517円
3	スイス	745円	19	イギリス	482円
4	スウェーデン	655円	20	アメリカ	482円
5	フィンランド	580円	30	トルコ	392円
6	ベルギー	559円	35	韓国	361円
7	ブラジル	547円	42	日本	310円
8	イタリア	544円	44	タイ	304円
9	デンマーク	540円	46	中国	286円
10	フランス	537円	56	インド	160円

チーズ大国スイス

- スイスは山岳酪農で有名です。牧畜は古代ローマ時代から行われており、チーズ生産も長い歴史を誇ります。
- チーズを白ワインで煮込んだチーズフォンデュはスイス料理で世界的に有名なものの一つです。スイスの代表的なチーズとして名高いエメンタール、グリエールはこのフォンデュの原料としても有名です。
- スイスを代表するチーズといえば、エメンタールです。円盤の形をしていて、直径が約80cm、厚さ25cmで(自動車のタイヤレベル)、重量は70kgから100kgにもなるそうです。「チーズの王様」と呼ばれることもあるようです。
- エメンタールチーズは孔(あな)が目印です。これは製造過程で発生するガスによるもので、チーズアイ(チーズの目)と呼ばれています。トム & ジャーリーで出てくるチーズを想像頂くと良いのではないのでしょうか？
- チーズフォンデュ以外で有名なチーズメニューは「ラクレット」です。フランス語で「削るもの」を意味し、チーズの断面を直火で温め、溶けたところをナイフなどで削いでジャガイモなどに絡めて食べます。「アルプスの少女ハイジ」の食事場面のメニューとしても登場しています。

エメンタールとチーズフォンデュ

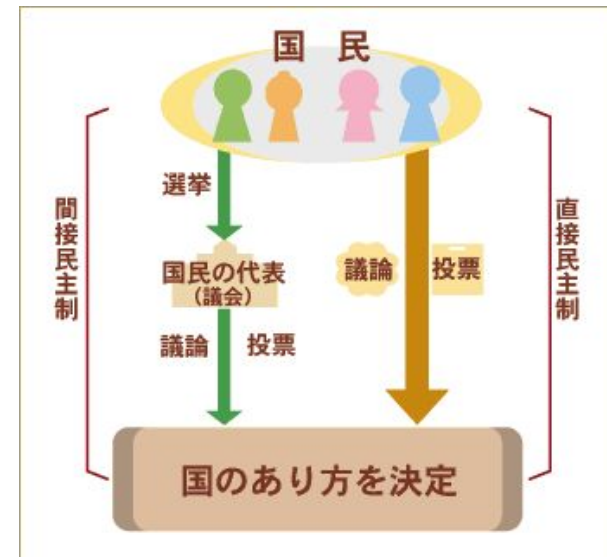


ラクレット



直接民主制

- スイスは、代表者などを介さずに住民が直接意思決定に参加し、その意思を反映させる政治制度である直接民主制を採用しています。対になる概念として、日本含む世界のほとんど全ての国で採用されている間接民主制があります。
- 最近では、選挙で選出された議員に政治を任せる間接民主制への不満が高まっており、自分で直接政治に参加したい人が増えています。諸外国はスイスの直接民主制に興味を持ち、外国の視察団が次々とスイスを訪れています。
- もっとも、スイス式の民主主義制は、さまざまな意見を議論し、そこから妥協策を引き出すために政治的決定には時間を要するというデメリットもあり、人口の多い国での採用は難しいように思われます。



お問い合わせ先:



村井 慎 / Shin Murai

Director

Direct (Germany): +49-69-170099-99

Mobile (Germany): +49-172-6324998

Email: smurai@gcakk.com

GCA Savvian Corporation - Frankfurt

OpernTurm - Bockenheimer Landstraße 2-4, 60306 Frankfurt am
Main, Deutschland

<http://www.gcasavvian.com/>